

まちの話題

ISA City Topics

＊お心遣いに感謝申し上げます

新型コロナウイルス感染症対策に寄附・寄贈をいただきました。

・大口電子株式会社

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対策に使用していただきたいと400万円の寄附をいただきました。

6月18日に、江上誠代表取締役社長から市長へ目録が手渡されました。大切にさせていただきます。

・伊佐市薬剤師会

マスク200枚 消毒液1.8リットル

・日本航空鹿児島支店

マスク1,000枚

・坂元佑哉さん（レインボーキッズいきOB）

マスク91枚

めざせ！ユナイテッド選手



6/19

忠元公園でプロサッカーチーム鹿児島ユナイテッドFCが主催するサッカースクールが開催されました。

これは、鹿児島ユナイテッドの選手らが、子どもたちにサッカーの魅力を伝えて、スポーツの普及を図るため県内各地で開催してる教室です。コーチを務めた山田選手、山之内選手は「基本練習を徹底して、サッカーの楽しさを伝えられたら」と話し、参加した子どもたちにプロの技を伝授しました。

久真瀬さんから サイン色紙が届きました！



伊佐が舞台の小説「ガラッパの謎」（13ページ参照）の作家・久真瀬敏也さんの直筆メッセージを、大口・菱刈図書館に展示しています。

また、久真瀬さんに電話取材を行い、ここでしか読めない作品のエピソードも展示していますので、ぜひご覧ください。

ポスターで伊佐米を PR

6/21



伊佐市と湧水町が共同でつくる「伊佐米・湧水町産米イメージアップ推進協議会」が、米のPRポスターの撮影を行いました。

これは、一昨年の硫黄山噴火の影響による水質悪化を乗り越えた、“安心・安全”の米作りをアピールする狙いです。湧水町の田んぼで行われた撮影には、プロバスケットチーム鹿児島レブナイズの選手や米農家が参加しました。

完成したポスターは、県内外の物産館などに掲示される予定です。

田植えで足腰のトレーニング!?

7/1



鹿児島レブナイズの7人の選手や市職員らが、菱刈中学校前の田んぼで田植えをしました。

初めて田植えを経験したというセネガル出身のディオップ選手は「難しかったけど、チームが1つになれた感じがします。収穫はファンも一緒になって楽しみたい」と話しました。

このお米は「レブライス」と名付けられ、試合会場で販売される予定です。

社会を明るくする運動 メッセージの伝達式

7/1



大口庁舎玄関前にて、「第70回社会を明るくする運動」メッセージの伝達式がありました。伊佐保護区保護司会の代表が、総理大臣と県知事のメッセージを市長に伝達しました。

7月は、社会を明るくする運動の強調月間です。犯罪や非行の防止と更生について理解を深め、みんなで声をかけあい、犯罪や非行のない明るい家庭・明るい社会を作りましょう。

地域農業を学ぶ

7/15



伊佐農林高校農林技術科の3年生22人が、山野石井の下小園ぶどう園でブドウの育て方などを学びました。

園主の下小園清文さんから、農業を始めた経緯や今回の被害などの話を自分たちと同じ樹齢のぶどうの下で聞いた後、ハウス横に流れ込んだ土砂の搬出作業に汗を流しました。

同高校では地域農業の課題や現状を学ぶ取り組みを行っていて、災害を知った河上桜大さんが「何か手伝えることをしたい」と担当の先生に申し入れて実現しました。